

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

4月号



つばさ

Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

新年度のスタートにあたり 令和8年4月1日



山鹿市病院事業管理者
別府 透

桜花爛漫の候、平素より格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

4月に山鹿市病院事業管理者としての5年目を迎えました。石河院長、辻崎新看護部長、入江事務部長との協力体制のもと、「がん診療」、「高齢者医療」、「予防医療」を3本の柱として、職員一丸となって病院の活性化に取り組んでまいります。松本前看護部長には、熊本赤十字病院から3年間出向していただき、職員の意識改革をはじめ多大なるご尽力を賜りました。心より感謝を申し上げます。さらに、4月には事務次長として済生会熊本病院から甲斐 通博氏を招聘し、病院改革を一層進めてまいります。その取り組みの柱は、令和8年度診療報酬改定を契機とした急性期医療機能の強化、地域医療連携の深化、医療DXの推進であります。加えて、医療の質と安全を確保しつつ働き方改革を進め、持続可能な病院経営を目指してまいります。

本年度は、20診療科、総職員数366名、常勤医師26名の体制で診療を行ってまいります。常勤医師として、麻酔科1名、外科1名の増員が実現しました。一般診療に加え、時間外手術を含む救急対応や緩和ケア・訪問診療にも一層力を入れてまいります。

新たに外科の遊佐 俊彦医師、武末 亨医師、代謝内科の西田 周平医師、消化器内科の梶原 雅人医師、整形外科の松下 祥大医師、坂上 諒明医師、麻酔科の篠塚 大医師が着任し、診療体制がさらに充実しました。看護部門においては、看護師を牽引するリソースナース（認定看護師、特定認定看護師、特定行為看護師）として、7名が勤務しています。さらに、患者サービスの向上と適正な勤務体制の確保を目的として、

看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名を新たに採用しました。

本年1月15日に、病院ホームページの全面更新を行いました。今回の更新により、スマートフォンやタブレットにも対応したページ構成となっております。3月6日時点での総アクセス数は7,362回、表示ページ数は43,447回に達しています。利用者の皆さまからは、「画面が見やすい」「検索がしやすい」「内容が豊富」などのご意見をいただいています。また、掲載内容についても全面的なリニューアルを行っておりますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

昨年度は、主なイベントとして、9月27日に第8回市民公開講座「泌尿器がんを知ろう！～腎臓・膀胱・前立腺がんの診断と治療～」、10月25日に第29回熊本県国保地域医療学会を開催いたしました。前者では、熊本大学泌尿器科学教授の神波 大己先生と当センターのスタッフが講演を行い、健康チェックコーナーや質問コーナーも設け、多くの市民の皆さまにご参加いただき盛況のうちに終了いたしました。後者は「『地域で治し支える医療』の実現に向けて」をテーマに開催し、医療・介護施設、行政などから200名を超える多職種の関係者にご参加いただきました。本年度は9月に、「メタボ疾患とがん(仮題)」をテーマとした市民公開講座の開催を予定しております。特に、肥満や糖尿病とがんとの関連性や、がん予防の重要性について理解を深めていただく機会となることを期待しております。

感染症への対応体制は着実に確立されてきており、昨年度は新型コロナウイルス感染症やインフルエンザによるアウトブレイクを計10回経験しましたが、いずれの場合も病院全体の機能を維持することができました。引き続き、「笑顔があふれる病院」を目指してまいります。患者さんが病気の治癒によって笑顔になること、苦痛が軽減されて笑顔になること、そして職員が笑顔で挨拶し、笑顔で仕事に取り組むことを大切なキーワードとして、病院づくりを進めてまいります。

今後とも、ご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

院長挨拶



新年度を迎えて

院長
石河 隆敏

新年度が始まり、皆さまそれぞれが気持ちを新たに日々を迎えておられることと思います。

世界情勢や社会の変化は目まぐるしく、医療現場への影響も少なくありません。当センターでもこうした流れに対応するため、昨年からの診療評価の適正化、近隣病院との連携強化、HP更新等さまざまな取り組みを進めており、今もその途上にあります。

この春からは診療部門に新しい仲間が加わり、より充実した体制で皆さまをお迎えできるようになりました。また、経営面でも新たなスタッフの

加入で病院の基盤をしっかりと整えていきたいと考えています。日本全体では、高齢化や人口減少といった課題がますます大きくなっています。この対策として厚生労働省が掲げる地域医療構想では医療機関の機能分化と連携による効率化が求められることとなります。時代に即した変革を行いつつ、「健幸都市」のスローガンにふさわしい山鹿市の医療機関として地域への貢献を継続していきたいと思っています。

これからも、地域の皆さまのお力添えとご指導をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

看護部長退任挨拶



地域医療の発展を願って

看護部長
松本 和美

この3月をもちまして、山鹿市民医療センター看護部長としての任を終え、熊本赤十字病院へ戻ることとなりました。令和5年4月に出向として着任してからの3年間、地域医療を担う皆さまと共に歩む機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

自治体病院としての体制や運営の仕組みは、これまで私が勤務してきた公的病院とは異なる点も多く、当初は戸惑うこともありました。しかし、地域の先生方、別府病院事業管理者、石河院長、そして看護部をはじめとする職員の皆さまに温かく支えていただき、多くの学びと経験を得ることができました。

山鹿での3年間は、地域医療の重要性を改めて実感するとともに、地域の皆さまの温かさ、豊かな自然、灯籠まつりや百華百彩に象徴される文化に触れ、

地域に根ざした医療の価値を深く感じる日々でもありました。

今後は熊本赤十字病院の立場から、これまで以上に病院間連携の強化に努めてまいります。地域医療を支える一員として、引き続き山鹿市民医療センターとの協働を大切にしていける所存です。

また、看護部はこのたび内部昇格された新看護部長のもと、より安定した体制で発展していかれることと思います。日々の業務を熟知し、現場の声を最も理解しておられる方ですので、看護部の強みをさらに伸ばし、組織としての一体感を高めていかれるものと確信しております。

山鹿市民医療センターが、これからも地域の中核病院として、関係機関の皆さまと連携しながら発展されますことを心より祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

新任医師挨拶



外科 遊佐 俊彦 先生 (ゆさ としひこ)

2026年4月より外科に赴任いたしました遊佐 俊彦と申します。2012年に大学卒業後、熊本大学消化器外科に入局し、関連病院にて研鑽を積んで参りました。各地域・病院の勤務にて、消化管・肝胆膵癌をはじめ、胆石症や虫垂炎、腸閉塞などの救急疾患や鼠径ヘルニアといった良性疾患など、腹部外科疾患を幅広く診療して参りました。山鹿市民医療センターでは肝臓疾患に対する集学的治療を積極的に行っており、私自身もこれから更に学びを深め、患者さんへ還元していければと思っております。

まずは地域の皆さまに適切・安全な医療を提供できるよう、真摯に診療に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



内分泌・代謝内科 西田 周平 先生 (にしだ しゅうへい)

2026年4月より赴任いたしました内分泌・代謝内科の西田 周平と申します。熊本大学病院や公立玉名中央病院(現くまもと県北病院)、国立病院機構熊本医療センターにて研鑽を積んでまいりました。

糖尿病をはじめとする代謝疾患は、生涯にわたる付き合いが必要となることも少なくありません。日々の生活の中で、患者さんが抱える不安や疑問は多岐にわたるかと思存じます。最新の医学的知見に基づいた治療を提供させていただくことはもちろん、何よりも患者さん一人ひとりのライフスタイルや想いに寄り添った診療を大切にしたいと考えております。

山鹿の地で、地域の皆さまが自分らしく、健やかな毎日を過ごせるよう、多職種のスタッフと連携しながら全力でサポートさせていただきます。

これから地域の皆さま、そして近隣の医療機関の先生方と信頼関係を築いていけるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



外科 武末 亨 先生 (たけまつ とおる)

4月より外科に赴任した武末 亨です。出身は福岡県久留米市で、福岡徳洲会病院、麻生飯塚病院、熊本大学病院、熊本医療センター、佐賀県の今村病院等で勤務してまいりました。最近では、もうすぐ3歳になる娘の口ぶりが妻に似てきたことに成長を感じながら、日々楽しく過ごしております。この2年間は単身赴任でしたが、今後は自宅から通勤できるようになり、家族と過ごす時間が増えることを大変うれしく思っております。有名な山鹿温泉で疲れを癒やしつつ、早く職場に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います。

麻酔科医 篠塚 大 先生 (しのづか だい)

はじめまして。このたび山鹿市民医療センターで勤務させていただきます、麻酔科医の篠塚 大と申します。麻酔科は病気や手術によって起こる様々な変化に対応する専門分野です。例えば、麻酔をかけた状態で何か医療処置を行う時、患者さんの体感としては「いつの間にか眠っていて、目が覚めたら処置が終わっていた」とよく言われます。しかし、実はその間に身体は複雑な麻酔の作用を受けており、何か副作用などが起きた場合にも迅速に対応できるよう常に生体情報を監視する必要があります。麻酔科学の発展や身体に負担の少ない手術法が普及したことで、より安全に手術を行うことができるようになってきました。しかし、現在もお手術を含めたあらゆる医療行為には重篤な合併症が発生するリスクが必ず伴います。このリスクを最小限にするために、患者さまの健康状態を把握し、苦痛を和らげ安全な医療を提供することが麻酔科医の主な役割となります。どうぞよろしくお願いいたします。



新任医師挨拶



整形外科 松下 祥大 先生 (まつした しょうだい)

今年度より整形外科に着任いたしました松下 祥大です。昨年度までは人吉医療センターに勤務し、主に骨折や脱臼などの一般的な外傷治療に数多く携わってまいりました。

これまでの経験を活かし、急なケガで不安を抱える患者様に寄り添った、迅速で丁寧な診療を心がけてまいります。地域の皆様が一日も早く健やかな日常生活に戻れるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科 坂上 諒明 先生 (さかうえ りょうめい)

2026年4月より整形外科に赴任することになりました坂上 諒明と申します。国立病院機構熊本医療センターで初期研修を2年間行い、その後熊本大学整形外科に入局しました。昨年は、熊本大学病院に勤務し整形外科診療に従事してまいりました。

山鹿地域は学生時代行っていたハンドボールの練習試合などでよく来ており、思い出深い地域です。今回、思い出深い山鹿地域での勤務となり嬉しく思っております。

至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆さまからの信頼を得られるよう診療に取り組み、山鹿地域の医療に貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科 梶原 雅人 先生 (かじわら まさと)

4月より熊本赤十字病院から赴任され、消化器内科で診療されます。本人からのご挨拶は5月号に掲載いたします。

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

ホームページをご利用ください。
病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

退職医師紹介

- | | | |
|--------|----|-------------|
| ・坂田 和子 | 医師 | 診療科：呼吸器科医 |
| ・辛島 龍一 | 医師 | 診療科：外科医長 |
| ・川崎 修二 | 医師 | 診療科：代謝内科長 |
| ・中垣 貴志 | 医師 | 診療科：消化器内科医長 |
| ・山口 裕介 | 医師 | 診療科：整形外科医長 |

山鹿市民医療センターでのご勤務ありがとうございました。
皆さまの今後のご活躍をお祈り申し上げます。



第88回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
8. 感染対策

下記により第88回公開講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透
記

日時：令和8年4月10日(金) 19:00～
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題：「最近の骨軟部感染症の話題」
演者：山鹿市民医療センター
整形外科 副院長 工藤 智志 先生
司会：山鹿市民医療センター 病院長 石河 隆敏 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから
ご参加ください。

(参加URL)：https://zoom.us/j/96103417875

(参加QRコード) ⇒



ミーティング ID：961 0341 7875
パスコード：338020

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
地域医療連携室 西田・古家
TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

原稿を募集しております

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

外来担当医表

4月

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤由比古	—	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	梶原 雅人	竹熊 梨祐	本原 利彦	梶原 雅人 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	西田 周平	—	西田 周平	—	西田 周平
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 備一 松下 祥大	工藤 智志 樽美 備一 松下祥大/坂上諒明	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 坂上 諒明	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 遊佐俊彦 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 遊佐 俊彦
乳腺外科(予約制)	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後:予防接種)	小澄 将士(午前) ★※石井真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後診療は、16:00受付終了					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) ★非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週:担当医 偶数週:吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

4月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	Aブロック
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆4月から担当医師や非常勤医師の勤務体制が変更となっております。

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。

 山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071 (連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>